

国際協調

食品安全委員会では、海外のリスク評価機関と定期的に会合を持つなど積極的に連携強化に取り組んでおり、最新の情報と意見の交換等を行っています。

● 国際会議 ～食品安全のための科学的国際協力の未来には何があるのか～ (2017年4月26日)

1 講演「ASEAN リスク評価センター(ASEAN Risk Assessment Centre for Food Safety, ARAC)について」

講演者：マレーシア保健省 食品安全品質課品質及び基準部門部門長(ARAC事務局)
Dr. Chin Cheow Keat(チン・チョウ・キート氏)

2 講演「急速に変化する世界からの課題」

講演者：ドイツ連邦リスク評価研究所 副所長 Prof. Dr. Reiner Wittkowski(ライナー・ウイトコウスキー氏)

3 講演「科学的能力向上のための協力と協調」

講演者：欧州食品安全機関 規制製品の科学評価局 局長 Dr. Guilhem De Seze(ギレム・デ・セゼ氏)

4 講演「共に成功する：食品安全のための科学的国際協力の重要性」

講演者：フランス食品環境労働衛生安全庁 長官 Dr. Roger Genet(ロジェ・ジュネ氏)

5 講演「食品安全に関するリスク評価の現状と今後：日本の視点」

講演者：食品安全委員会 委員 山添 康

6 パネルディスカッション「食品安全分野におけるリスク評価の向上のためには何ができるのか」

コーディネーター：欧州食品安全機関 長官 Dr. Bernhard Url(バーンハート・ウール氏)
食品安全委員会 委員長 佐藤 洋

パネリスト：①～⑤の各講演者

ASEANリスク評価センター(ARAC)科学委員会 委員長 Dr. Paul Chiew King Tiong(ポール・チュウキン・チョン氏)
在タイ欧州連合代表部保健及び食品安全担当公使参事官 Dr. Patrick Deboyser(パトリック・デボワジエ氏)
食品安全委員会事務局 局長 川島 俊郎



● 国際機関の専門家会合への参加

1 JECFA/JMPR

- 2017年6月6日～15日
第84回 FAO/WHO合同食品添加物専門家会議(食品添加物) JECFA ローマ
- 2017年9月12日～21日
FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議 JMPR ジュネーブ
- 2017年10月17日～27日
第85回 FAO/WHO合同食品添加物専門家会議
(食品中の残留動物用医薬品) JECFA ジュネーブ

2 経済協力開発機構(OECD)

- 2017年6月29日・30日
農薬作業部会 FAO

3 その他

- 2017年9月17日～20日
レギュラトリーサイエンスに関する国際会合(GSRS)2017 ブラジリア
- 2017年10月31日
「リスクコミュニケーションに関する国際リエゾングループ」第1回会合 北京

● デンマーク工科大学(DTU)と新たに協力覚書を締結

食品安全委員会は、これまで、欧州食品安全機関(EFSA)、豪州・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、ポルトガル経済食品安全庁(ASAE)、フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)及びドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)と協力覚書(MoC)を交換し、協力関係を構築してきました。

2018年3月19日、新たに、これまでも交流を行ってきた国立食品研究所を擁するデンマーク工科大学(DTU)と協力覚書を締結しました。

今後、本協力覚書に基づき、リスク評価の手法・個別の課題についての情報交換・意見交換を行い、リスク評価を担当する機関同士の更なる連携強化を図ってまいります。